

浜松ホトニクス株式会社

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応



証券コード 6965

2024年3月28日

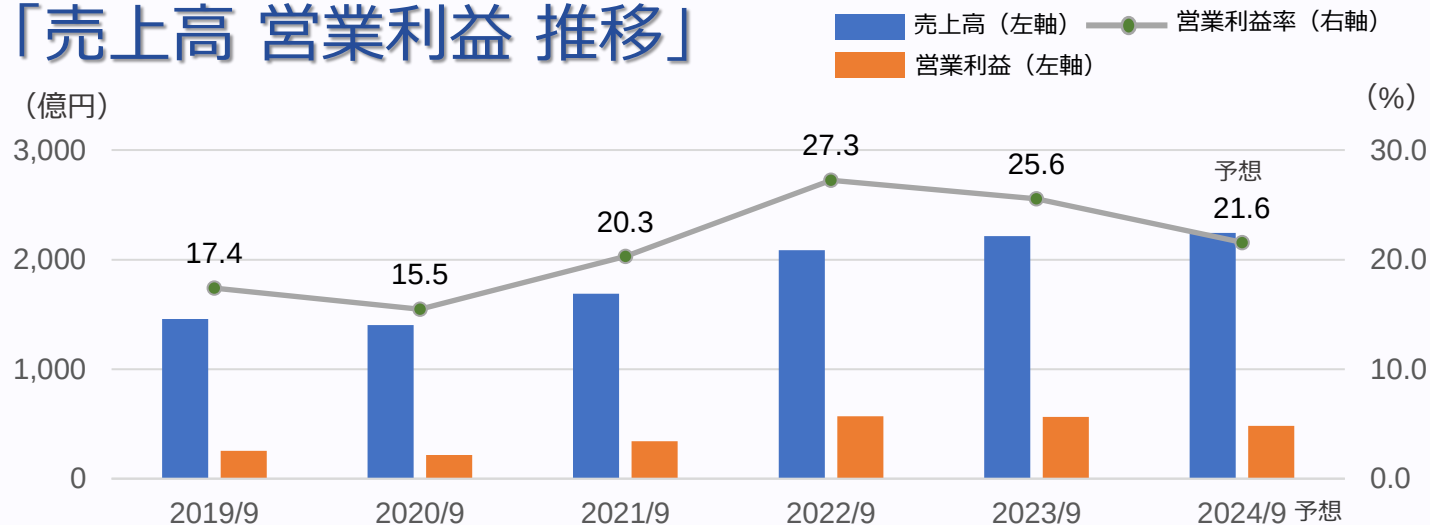
現状分析 -市場評価-



- 株価下落に伴い、PER、PBRも低下傾向。足元のPBR2.6倍は、ピーク(2021年2月)5.1倍の約半分。
- 株価低迷の要因は、今期減益予想、中国経済減速の影響、来期以降の不透明感、及び株主還元の方方向性を示していないこと、等が要因であると評価。

現状分析 -業績・財務の状況①-

「売上高 営業利益 推移」



「ROE・株主資本コスト 推移」

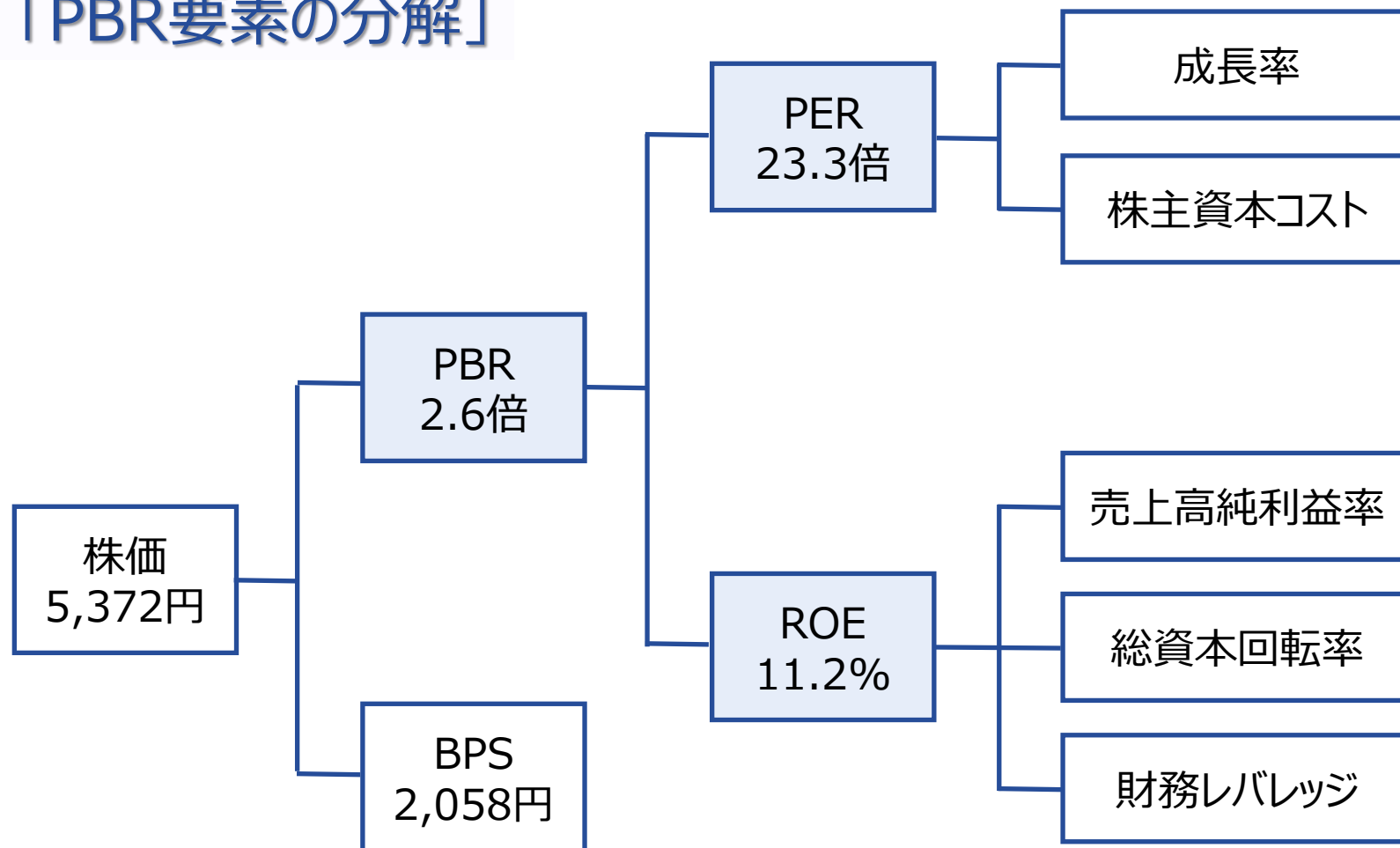


※株主資本コストはCAPMを採用し算出

- コロナ特需の減少により急速な成長トレンドは鈍化するも、営業利益率は20%を確保。
- ROEは株主資本コストを上回る水準を維持するものの、営業利益率と同様下方トレンド。
- 業績の底打ち感を含め、今後の成長ストーリーを含めた開示の強化が課題と認識。

現状分析 -業績・財務の状況②-

「PBR要素の分解」



- 当社のROEは、株主資本コストを上回る水準を確保しており、2021年9月期以降10%超で推移。
- PBRの要因分解により、改善に向けた方針や具体的な目標について、検討の必要がある。

※株価は2024年2月29日終値
※利益率は今期予想ベース

改善に向けた方針

中期経営計画に基づいた3年間の キャピタル・アロケーション予想

Cash Generation Capital Allocation



- 連結及び各セグメントにおける営業利益率を重視。**連結営業利益率目標20%以上**を継続。
- 今後の成長ストーリーを含めた戦略を次期中計発表時に開示すると共に、決算説明会や各種IR等の実施を通じ、**成長戦略を発信するIR活動を強化**。
- PBR、PER、ROE、資本コスト等の分解、検討により資本コストを上回るROEと株価を意識した経営を推進。
- **最適なキャピタル・アロケーション**を検討。適切なファイナンス実践と今後の成長ストーリーに沿ったM&A、成長投資を実施。
- 自社株買い、株式分割等を適宜、適切に実施し、**株主還元にも注力**。

www.hamamatsu.com